

特別機動警備隊等による被災者等支援活動の実施

災害時の効果発揮事例

国土強靱化
NATIONAL RESILIENCE

概要：特別機動警備隊が矯正施設における大規模災害等発生時に事態の収束を図るため、必要な備品等を整備し、訓練を実施した結果、令和6年能登半島地震発生時に被災者等支援活動を実施することができた。

対策名：特別機動警備隊の活動に必要な備品の整備【法務省】

- 実施主体：法務省矯正局
- 実施場所：石川県輪島市 等
- 事業概要：法務省矯正局特別機動警備隊が、矯正施設における大規模災害等発生時に迅速かつ適切に事態の収束を図るために必要な備品等を整備し、訓練を実施した（特別機動警備隊等派遣実績 約60日間 延べ2,173人。）
- 事業費：約1億3,400万円
（令和3年度から令和6年度までの事業費の総額）
- 災害の外力、被害と効果：令和6年1月4日に石川県からの要請を受け、令和6年能登半島地震に対する支援活動として、最大震度7を観測した石川県輪島市等へ特別機動警備隊等を派遣した。派遣に当たり、必要な車両等の備品を整備していたことで同日中に隊員を派遣することができ、被災者への支援活動等を迅速かつ適切に対応することができた。

被災者支援用仮設トイレ(8基)・シャワーブース(1基)



不明者捜索活動・被災地復旧支援活動



物資搬送用車両



支援用物資等搬送状況